

鎮静剤(静脈麻酔)の説明・同意書

1. 鎮静剤(静脈麻酔)とは

精神的・身体的な苦痛・緊張を和らげる薬剤です。検査室に入ってから血管確保した上で薬剤を注射します。

不安が強い方や検査が怖い方など希望のある患者さんに投与します。

年齢や体重により投与量は調節し安全な量で投与します、効果には個人差があり全く記憶に残らない方もいれば、検査中全ての処置を記憶されている方もいらっしゃいます。

(飲酒量の多い方や、普段睡眠薬や抗精神薬を服用されている方は効果が減弱する傾向があるようです。)

2. 副作用

ごく稀に、一過性の呼吸抑制が起きたり、薬剤によるアレルギー反応や頭痛・嘔気が起こったりすることがあります。検査中そのようなことが起こった場合でもすぐに対応できるように、体にモニターをつけ常に全身状態を確認しながら行っています。

3. 注意事項

検査終了後は30～60分程度ベッド上にてお休み頂きます。
検査後は自動車・オートバイの運転は避けて頂いております。

以上のことにつき説明書を読み、理解しました。
鎮静剤を希望します。

年 月 日

氏名

代筆者(続柄)

浜松市西区入野町9863-6
鈴木内科消化器科医院
院長 鈴木 秀治